

第2次防府市図書館サービス振興基本計画策定スケジュール

年	月	内容	
		策定協議会(策定作業)	図書館協議会
R2	1	(第1次計画の実施状況整理)	
	2	(第2次計画に向けた課題調査)	R1年度第3回 図書館協議会
	3	(第2次計画の方向性協議)	
R2	4		
	5	(公募委員募集)	
	6	(令和元年度の事業実績調査)	
	7	第1回 策定協議会	R2年度第1回 図書館協議会
	8	(素案作成・意見聴取)	(令和元年度 事業評価公表)
	9		
	10	第2回 策定協議会	
	11		
12	教育委員会・市議会へパブコメ実施前の説明		
R3	1	パブリックコメント実施	
	2	(パブリックコメント対応)	
		第3回 策定協議会	R2年度第2回 図書館協議会
3	教育委員会・市議会報告		

現
方
状
針
分
析
討

意
原
見
稿
聴
修
取
正

意
原
見
稿
聴
修
取
正

第 2 次防府市図書館サービス振興基本計画の策定について

(1) 策定の目的

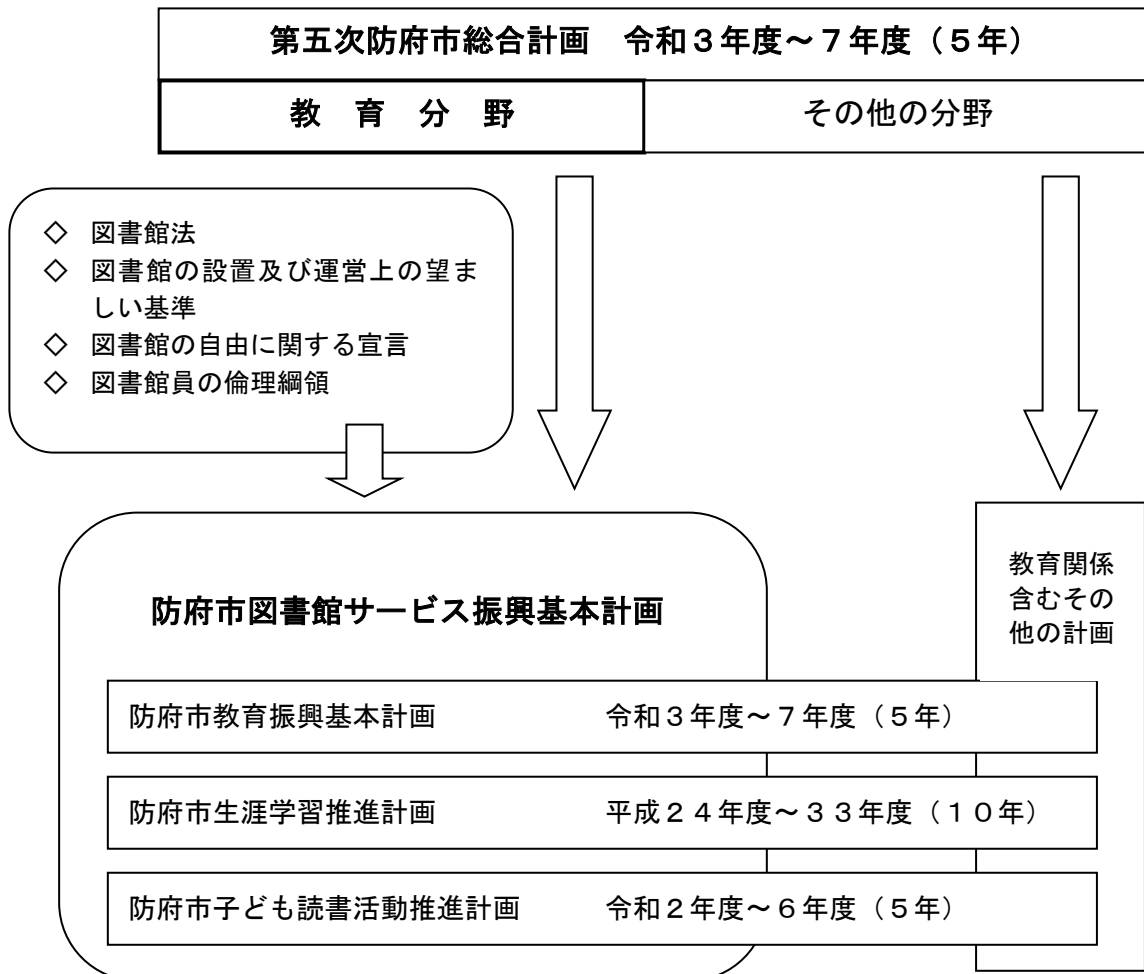
防府図書館は、平成 28 年 4 月 1 日から、公益財団法人防府市文化振興財団を指定管理者として運営を開始しました。それを機に、改めて図書館サービスのあり方について、その原点から考えてみることにしたのが「第 1 次図書館サービス振興基本計画」です。平成 18 年 9 月に不易の図書館サービスの理念として制定した「私たちの目指す図書館像 —防府図書館の任務と目標—」を踏襲、発展させることを旨とし、常に図書館サービスの基本と位置付けてきた「目指す図書館像」の理念を、具現化する指針を示しています。

この第 1 次計画（2016 年度～2020 年度）の取り組みの成果や課題を検証し、かつ現状を踏まえた上で、「目指す図書館像」の理念を継承し、本市の図書館サービスの一層の向上を図り、市民に親しまれ、信頼される図書館を推進していく指針として、第 2 次計画を策定するものです。

(2) 計画の期間

令和 3 年度（2021 年度）～令和 7 年度（2025 年度）（5 年間）

(3) 計画の位置づけ



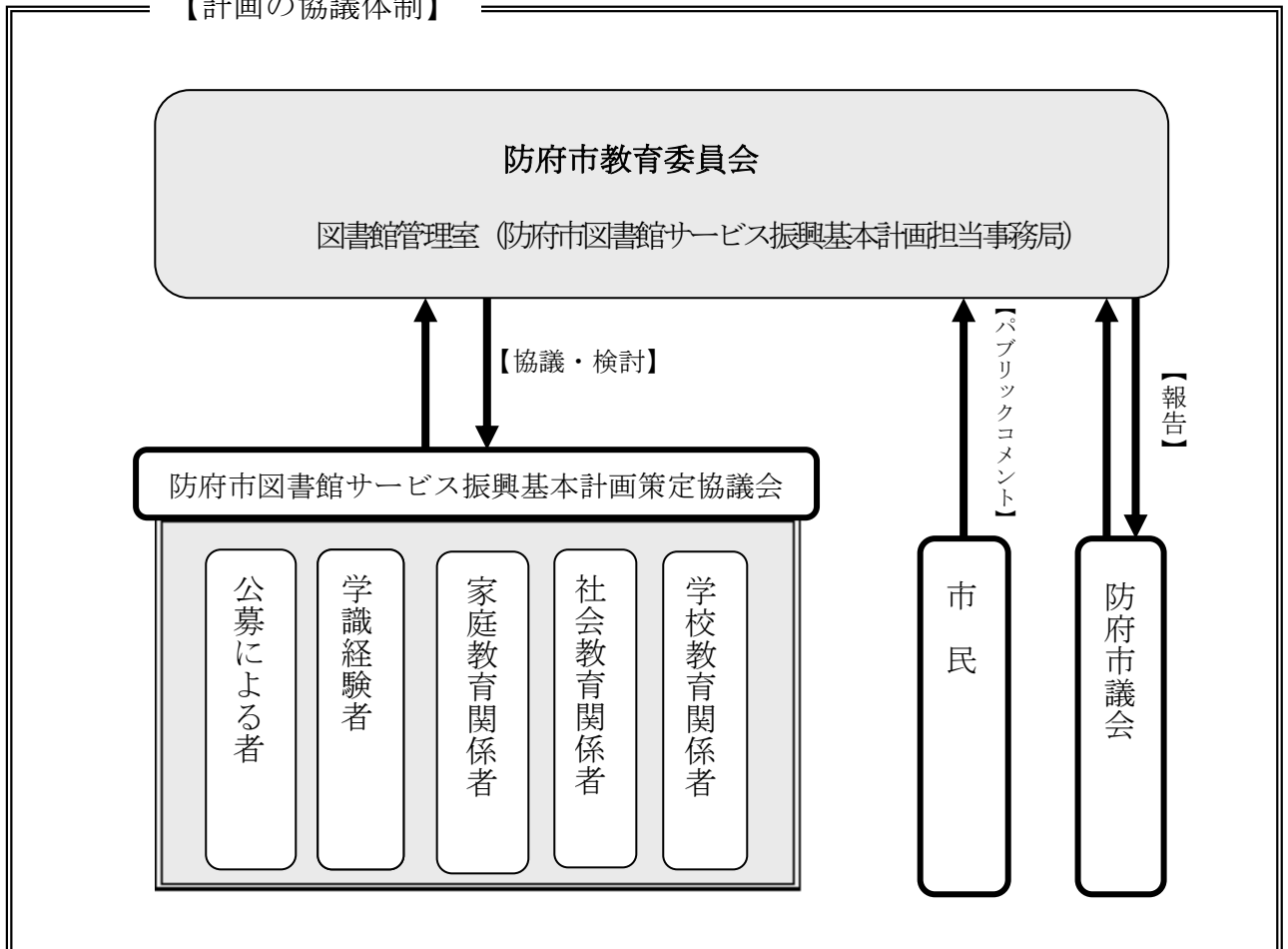
・「目指す図書館像」の7つの項目に対する図書館サービスが、実際に現場でどのように提供されているかを検証し、それを踏まえて更なる向上を図るための施策を示すもの。

・日本国憲法や図書館法の精神を基本として、「第五次防府市総合計画」、「防府市教育振興基本計画」「第二次防府市生涯学習推進計画」「第2期防府市子ども読書活動推進計画」など市の諸計画を踏まえて、図書館のサービスが一層向上、拡充することを目指す。

(4) 防府市図書館サービス振興基本計画の策定体制について

- ① 防府市図書館サービス振興基本計画策定協議会
 - ・ 構成員：学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者、公募による者
 - ・ 図書館サービス振興基本計画策定のための協議、検討
- ② 教育委員会への報告、計画案の決定
- ③ 市議会への報

【計画の協議体制】



(5) 計画の基本方針

- (1) 図書館サービス環境の整備・充実
- (2) 図書館サービス体制の整備・充実
- (3) 図書館利用者の多様化するニーズに対するサービスの質的充実

「私たちの目指す図書館像－防府図書館の任務と目標－」

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館。

- (1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館。
- (2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館。
- (3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館。
- (4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館。

- (1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館。
- (2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館。

- (1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館。
- (2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館。

- (1) 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。
- (2) 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館。
- (3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館。

- (1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館。
- (2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館。

- (1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館。
- (2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

7 障害者や高齢者に優しい図書館。

- (1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館。
- (2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館。
- (3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

骨 子 (案)

第1章 第2次防府市図書館サービス振興基本計画の策定にあたって

- 1 計画の趣旨
- 2 計画の理念
- 3 計画の位置付け
- 4 計画の期間
- 5 計画の対象

第2章 第1次防府市図書館サービス振興基本計画における取組・成果・・・

- 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館
- 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館
- 3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
- 4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館
- 5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館
- 6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館
- 7 障害者や高齢者に優しい図書館

第3章 施策の方向と具体的な取組

- 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館
- (1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館
- (2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館
- (3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館
- (4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館
- 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館
- (1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館
- (2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館
- 3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
- (1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館
- (2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館
- 4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

- (1) 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館
- (2) 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館
- (3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館
- 5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館 ..
 - (1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館
 - (2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館
- 6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館 ..
 - (1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館
 - (2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館
- 7 障害者や高齢者に優しい図書館 ..
 - (1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館
 - (2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館
 - (3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

第4章 計画の推進体制 ..

- 1 推進体制の整備
- 2 計画の進行管理
- 3 財政上の措置

防府市図書館サービス振興基本計画体系図
 推進体制図

資料編 ..

- ★ 関係法令（●日本国憲法【抄】●図書館法●著作権法【抄】）
- ★ 図書館に関する宣言・綱領など（●図書館の自由に関する宣言
●図書館の設置及び運営上の望ましい基準）
- ★ パブリックコメントのまとめ
- ★ 第2次防府市図書館サービス振興基本計画策定協議会委員名簿

防府市図書館サービス振興基本計画の第 1 次計画における取組・成果(案)

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館。

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館。

防府図書館の令和元年度の資料購入費は 30,892,258 円でした。

そのうち図書(視聴覚資料を含む)購入費は 26,100,405 円、新聞・雑誌等(法令追録等を含む)購入費は 4,791,853 円です。

平成 29 年度の人口 10 万人以上 15 万人未満の都市 103 市区の図書館資料費決算額全国平均(2018 年度統計『2019 図書館年鑑』より)の 31,100 千円(新聞・雑誌等を含む)には、達しておらず、県内他市に比べても決して多くはありません。

●資料費推移

(単位：円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
図書	25,481,980	24,531,966	30,523,539	25,288,312
A V 資料	464,755	651,982	690,294	812,093
新聞・雑誌等	4,443,665	4,415,565	4,588,129	4,791,853
合計	30,390,400	29,599,513	35,801,962	30,892,258

令和 2 年 3 月 31 日現在、分類別の図書受入及び蔵書冊数は以下の通りで、第 1 期計画期間中の 4 年間で蔵書冊数については、約 5 万 2 千冊の増加、視聴覚資料(A V 資料)については、約 6 0 0 点増加しました。

(注1) **電子書籍**：編集から出版までをコンピュータで管理し、CD-ROMやコンピュータ可読ファイルで出版・配布する書籍。利用者はパソコンなどを使用してディスプレイに表示したり、必要な部分だけをプリントアウトしたりすることができる。

●分類別図書受入及び蔵書冊数

分類別		平成 27 年度末 冊 数	4 年間の 増加冊数	令和元年度末 蔵書冊数
一 般	0 総 記	10,729	1,312	12,041
	1 哲 学	15,346	1,961	17,307
	2 歴 史	31,239	3,267	34,506
	3 社会科学	55,404	7,111	62,515
	4 自然科学	26,742	3,941	30,683
	5 技 術	34,552	5,293	39,845
	6 産 業	14,640	1,653	16,293
	7 芸 術	26,135	3,587	29,722
	8 言 語	7,195	807	8,002
	9 文 学	101,084	10,429	111,513
	計	323,066	39,361	362,427
児 童	0 総 記	1,259	163	1,422
	1 哲 学	1,005	194	1,199
	2 歴 史	4,436	591	5,027
	3 社会科学	3,601	862	4,463
	4 自然科学	6,954	1,029	7,983
	5 技 術	2,683	436	3,119
	6 産 業	1,522	318	1,840
	7 芸 術	4,072	441	4,513
	8 言 語	1,264	220	1,484
	9 文 学	35,460	2,150	37,610
	絵 本	32,949	3,693	36,642
	紙芝居	1,917	248	2,165
	計	97,122	10,345	107,467
	○合 計		420,188	49,706
郷 土	山口県	10,291	945	11,236
	防府市	9,246	930	10,176
○合 計		19,537	1,875	21,412
外国語の図書		2,681	580	3,261
点字図書		310	35	345
◎総 計		442,716	52,196	494,912

● A V資料受入点数

資料種別	平成 27 年度末 点 数	4 年間の 増加点数	令和元年度末 所蔵点数
C D	6,314	508	6,822
カセット	497	△28	469
L D・VHS	236	0	236
D V D	586	122	708
CD-ROM	93	1	94
合 計	7,726	603	8,329

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館。

図書館は、様々な世代や立場の利用者が来館しやすいように、毎月の月例整理休館を廃止して開館日を増やし、土日祝日の開館時間を延長して年間の開館時間の増加に取り組みました。

成人サービス・児童サービス(乳幼児サービスを含む)・ヤングアダルト(青少年)サービス(注1)など、それぞれの世代等によって異なる利用目的に適應できるようコンピュータ・システムを更新し、その円滑な運用により、サービスの強化に努めました。それにより利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳(注2)の作成ができるようになり、また、Web上においては、利用者が読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の新たなサービスを導入しました。

(注1) **ヤングアダルト(青少年)サービス**：中学生・高校生などティーン・エイジャーへの図書館サービス。児童室または児童コーナーとは別にヤングアダルト・コーナーを設けて独自の蔵書を構成し、貸出の他にブック・トーク、読書会、ミーティングなどを通して、地域社会の青少年交流の場を形成する。

(注2) **読書手帳**：図書館で借りた本の書名、著者名、出版社、利用日が印字されたのり付きシールを、希望する利用者に貸出カウンターで即時発行するサービス。このシールを読書手帳や手持ちのノートに貼ることで、読書履歴を個人管理することができる。

(注1) **ビブリオバトル**：図書館で借りた本の書名、著者名、出版社、利用日が印字されたのり付きシールを、希望する利用者に貸出カウンターで即時発行するサービス。このシールを読書手帳や手持ちのノートに貼ることで、読書履歴を個人管理することができる。

図書館のサービスを広く周知するために、毎月「ほうふ図書館だより」と「ほうふとしょかんこどもしんぶん」の発行をしており、イベント広報等については、市広報「ほうふ」を活用しました。防府市文化振興財団機関紙である「イベントアイ」や財団広報「メールマガジン」にも図書館関係記事を掲載しました。

また、地域コミュニティーFMラジオ番組「FMわっしょい」や図書館主催行事の「ビブリアバトル(注3)」の告知番組等に積極的に出演するなど、いろいろなメディアを通じて、図書館の広報活動を行いました。

平成27年度から令和元年度までの図書館利用状況は、以下の通りです。

●入館者数

単位：人

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
265,533	261,219	258,584	253,135	229,980

●館外個人貸出者数

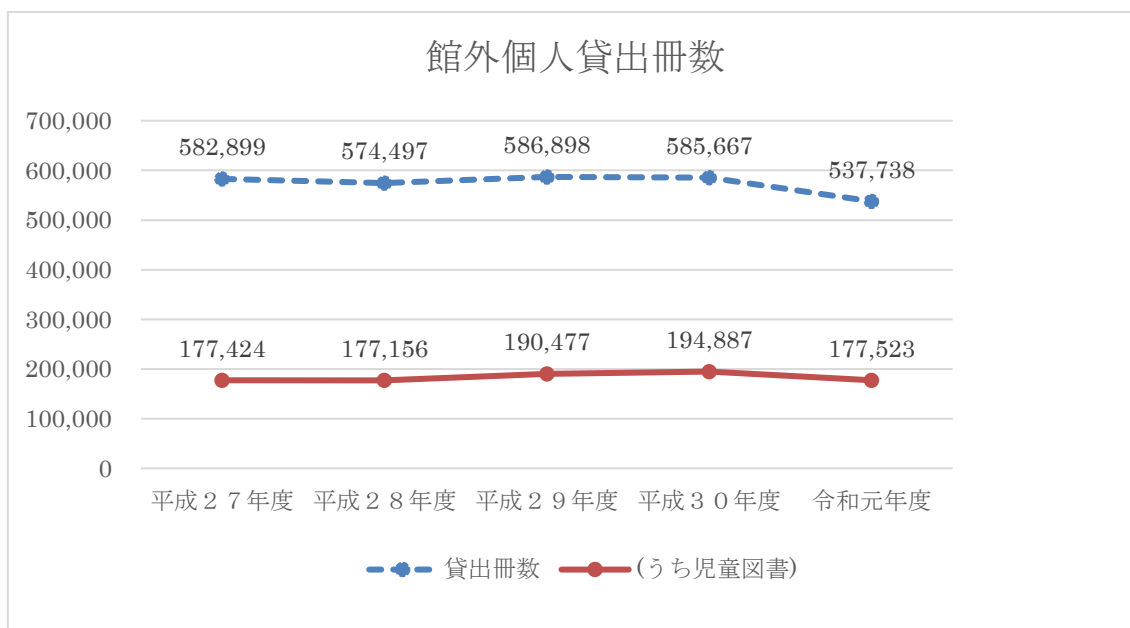
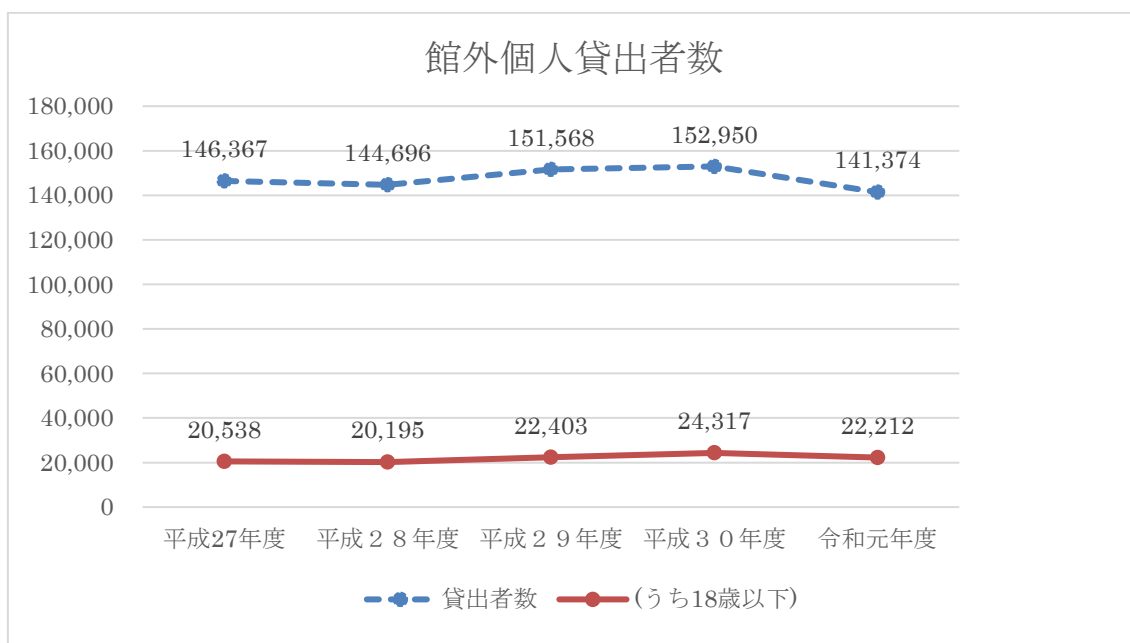
単位：人

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
66歳～	33,081	34,203	36,834	39,237	37,699
51歳～65歳	34,295	33,835	33,453	34,079	32,044
41歳～50歳	26,415	25,736	27,275	26,396	24,739
31歳～40歳	23,364	22,441	22,686	21,265	18,358
23歳～30歳	6,481	6,109	6,178	5,258	4,419
19歳～22歳	2,193	2,177	2,739	2,398	1,903
16歳～18歳(高校生他)	2,095	2,226	2,162	2,068	1,613
13歳～15歳(中学生)	2,750	2,510	2,461	2,596	2,598
7歳～12歳(小学生)	11,685	11,385	13,461	15,006	13,521
0歳～6歳(乳幼児)	4,008	4,074	4,319	4,647	4,477
合計	146,367	144,696	151,568	152,950	141,371

●館外個人貸出冊数

単位：冊

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
貸出冊数	582,899	574,497	586,898	585,667	537,738
(うち児童図書)	177,424	177,156	190,477	194,887	177,523
※児童図書の割合	30.44%	30.84%	32.45%	33.28%	33.01%



(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館。

市内全域サービスの充実を図るために、平成23年11月から運行を始めた移動図書館車(注1)「わっしょい文庫」は、常時約3,500冊の図書を積載し、ステーションの増設、巡回コースやステーションの見直しを行いながら、現在は6コース37ステーションを、2週間に1回の周期で巡回しています。

また、依頼のあったイベント等に図書館のPRも兼ねて移動図書館車が出向くなど、臨時出張サービスも始まったことで、徐々に移動図書館車の利用が増えています。

●移動図書館貸出冊数

単位：冊

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸出冊数	20,277	21,927	23,806	23,813	20,980

わっしょい文庫 写真

(注1) **移動図書館車**：図書館に直接来館しにくい遠隔地域等の利用者のために、図書館資料を積んで定められた場所(ステーション)に行き、貸出・返却・検索業務等を行う車輛。防府図書館の移動図書館車は、本館との同時交信システムを導入。公募により選ばれた愛称「わっしょい文庫」の名で親しまれている。

また、市内の公民館 15ヶ所に設置している「地域文庫（注1）」や、団体貸出（「貸出文庫」（注2）「読書会文庫」（注3））の利用状況は、以下の通りです。

●地域文庫…公民館に15ヶ所設置。各文庫200冊ずつ年4回配本。

単位：冊

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
貸出者数	774	770	649	915	966
貸出冊数	1,720	1,613	1,659	2,221	2,337

●団体貸出

		単 位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
貸出文庫	団体数	-	97	98	142	150	152
	貸出冊数	冊	22,882	24,577	24,822	25,583	25,385
	貸出回数	回	741	822	861	861	827
読書会文庫	団体数	-	3	3	3	3	3
	貸出冊数	冊	299	298	294	294	257
	貸出回数	回	40	37	39	37	34

 (注1) **地域文庫**：15ヶ所の公民館（野島は漁村センター）に、市立図書館の図書を約200冊配置し、貸出等のサービスを行っている本市の制度。図書は、3ヶ月ごとに交換し、利用者のリクエストにも応じている。

(注2) **貸出文庫**：市内の団体が市立図書館の図書を最大40冊まで1ヶ月間借りることができる本市の制度。学校等の教育施設や各種公共施設、民間団体などに貸し出している。

(注3) **読書会文庫**：少人数のグループで、特定の作家や特定のテーマに関する同一の著作を読み、意見や感想を述べ合う学習活動のための図書を貸し出す本市の制度。通常は5冊乃至10冊程度のセット図書を貸し出している。

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館。

平成29年度に約200万冊のデジタル化資料が利用できる国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」への登録が完了し、館内での閲覧・複写業務を開始しました。

平成30年度からは、図書館における中心的なサービスの一つである参考業務（レファレンスサービス（注1））向上のため、レファレンス協同データベースに参加しています。

また、パスファインダーやミニブックの内容充実に努め、更なるレファレンスサービス充実のため、職員研修及び利用者へのフロアワークの強化にも取り組みました。

さらに行政各部署や他の諸機関とも連携を密にし、「行政関係図書紹介」の発行や資料・情報提供サービスの充実に努めるとともに、関係機関や専門機関への紹介業務の強化に努めました。

●参考業務及び複写サービス件数（令和元年度）

(1)参考業務	1,324 件	(2)複写サービス	1,213 件
(内訳) 文書	0 件	(モノクロ 5,788 枚 カラー 1,022 枚)	
電話	26 件	(国立国会図書館 1,403 枚)	
口頭	1,298 件		

(注1) **レファレンスサービス (reference service)** : 知識や情報を求めてくる利用者に対し、図書館員が図書館の資料と機能を活用し、必要としている知識・情報の検索方法や参考資料を提供するサービス。現代の図書館の主軸をなす機能。参考業務とも言う。

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館。

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館。

「子ども読書フェスティバル」と「防府図書館まつり」は、防府図書館と関係機関及びボランティアや民間団体とが連携・協働して実行委員会を立ち上げて実施しています。毎年多くの参加者があり、市民にも浸透している人気のイベントになっています。

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館。

平成14年度から始まった「おはなしボランティア養成講座」は、平成26年度から講座名を「図書館ボランティア養成講座」と改めて、図書館の研修的要素を充実した内容にして、毎年4回開催しています。参加者も微増している状況で、講座終了後に図書館のボランティアとして参加できるように、図書館ボランティア団体「まーぶる」が平成31年4月に発足し、図書館内で活動を始めています。

また、「防府図書館ボランティア連絡会議」を開催し、ボランティア同士の横断的な連携や共通理解を図るだけでなく、図書館サービスのあり方に対する現状と課題について意見交換を行いました。

さらに図書館職員が、ボランティア主催のお話会、研修会でブックトーク等をするなど、ボランティアとの連携・支援を推進しています。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館。

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館。

防府図書館では、市民の生涯学習・文化の拠点の一つとして、市民と協働した集会文化活動を活発に行っています。第1次計画期間中には、子どもから大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル」(知的書評合戦)を新たに図書館主催で始めました。

また、年に一度開催する、図書館主催の「防府図書館利用者懇談会」や職員がトナカイやサンタに扮して開催する「クリスマスおはなし会」なども好評を得ています。

さらに、図書館内の展示コーナーでは、月替わりで変化に富んだ資料展示をしており、ブラウジングコーナー壁面を使って、行政諸機関・民間団体の展示等も行われています。

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館。

幅広い分野の資料を持ち、その場で利用のできる施設である図書館は、数多くの生涯学習グループの学習拠点として、大いに活用されています。図書館では、市民学習活動の場や機会、活動のための資料、施設、設備、用具などを提供していくとともに、その活動支援として、市広報やホームページ、図書館だよりなどにボランティアや学習サークルの講座やイベント記事を掲載しています。

令和元年度の図書館学習サークル等の活動実績は以下の通りです。(順不同)

- (1)防府図書館短歌会 講師：南本みどり 毎月第3水曜日
- (2)自由律句講座 講師：富永鳩山 毎月第3土曜日
- (3)源氏物語を読む会 講師：加藤宏文 毎月第1日曜日
- (4)布絵本「結う」(布絵本製作) 毎月第1・3月曜日
- (5)青海波俳句会(中国支部) 毎月第2土曜日
- (6)なかよしくらぶ(お話ボランティア) 毎月第1金曜日
- (7)あいの会(音訳ボランティア) 不定期
- (8)さざなみ21(朗読劇の勉強会) 毎月第2・4水曜日

- (9)子どもの本を読む会 奇数月第4土曜日
- (10)おはなしグループ森のくまさん（お話ボランティア）毎月第2・4土曜日
- (11)文学セミナー 不定期
- (12)おはなしでんしゃ（お話ボランティア） 毎月第2・4水曜日
- (13)万葉集講座 講師：吉村誠 毎月第2金曜日
- (14)倭王の物語講座（古事記を読む） 講師：吉村誠 毎月第4金曜日
- (15)防府史談会（郷土史研究会） 不定期
- (16)防府図書館利用者・サークル連絡会 不定期
- (17)古文書を読む会 講師：柴原直樹 毎月第2土曜日
- (18)読書会 講師：森川信夫 毎月第2月曜日
- (19)防府歴史と考古学の会 講師：桑原邦彦 不定期
- (20)つれづれの会（エッセイや日記を楽しむ会） 奇数月第2水曜日
- (21)古典を味わう会「今昔物語集」 講師：森川信夫 毎月第4月曜日
- (22)劇団ジャンク派 毎月第1土曜日
- (23)フォト・カプセル（写真サークル） 毎月第2日曜日
- (24)学校図書館を考える会・防府 毎月第4土曜日
- (25)学校図書館を考える会・山口 不定期
- (26)ジュニア短歌教室 講師：木原樹庵 不定期
- (27)防府友の会 不定期
- (28)学校図書ボランティアネット・防府 不定期
- (29)翠の会 不定期
- (30)防府市子ども読書フェスティバル実行委員会 不定期
- (31)図書館まつり実行委員会 不定期
- (32)陽だまりの会 不定期
- (33)学校司書研修 不定期
- (34)図書館ボランティア「まーぶる」 不定期

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館。

(1) 地域（郷土）資料（注1）を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。

地域（郷土）資料については、個人の自費出版物や発行部数が少ないなどの制約がある中、迅速に出版情報を捉え、資料を収集する必要があるため、職員研修を実施しながら、常にアンテナを巡らせておく必要があります。同時に、防府市関係の過去の著作物に対しても、古書情報などを活用しながら可能な限り収集に努め、地域の特性を反映した資料構成（コレクション）の形成につながるよう、職員の研修強化をしながら引き続き取り組んでいます。

令和元年度末の郷土資料については、山口県関係資料が 11,236 冊、防府市関係資料が 10,176 冊所蔵しており、概ね計画通りに資料の収集ができています。

(2) 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館。

防府図書館が発行する郷土資料である防府史料については、毎年継続して刊行しており、令和元年度は第 69 集目となる『防府地形の変遷』（御菌生翁甫著・昭和 28 年刊翻刻）を出版し、ホームページにも掲載しました。

また、防府図書館の前身「三哲文庫」を市に寄贈した上山満之進翁の顕彰事業として、平成 30 年には、「上山満之進没後 80 年展」として、アスピラートで記念講演を含む資料展示を行い、令和元年度には、「上山満之進生誕 150 年事業」として、「三哲文庫記念公園」での記念碑除幕をはじめ、ルルサス防府 2 階多目的ホールでの講演会と、防府図書館において三哲文庫ゆかりの絵画「東台湾臨海道路」の展示を行いました。

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。

姉妹都市である韓国春川市の春川市立図書館との資料交換協定に基づき、毎年 100 冊程度の資料を交換しています。

また、ホストタウン事業と連携したセルビア関係資料の収集・展示を行うなど、他の外国の資料も積極的に収集し、国際理解を深めることに努めました。

(注1) **地域（郷土）資料**：図書館が存在する地域における出版物、及び地域に関する歴史や文化、風土、状況等を知る上で有効な資料。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館。

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館。

小・中学校の調べ学習の際に使用できる学校図書館支援図書を設置したこと、学校図書館支援センター（注1）の機能を持つ図書館管理室との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務が進んだことで、学校図書館への貸出冊数が倍増しており、学校図書館支援サービスは向上しています。

物流だけでなく学校司書の研修の機会や場の提供などにも協力しており、学校図書館の活性化の一翼を担っています。

平成29年度から令和元年度までの学校支援図書利用状況は、以下の通りです。

●学校支援図書

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸出件数(件)	-	-	143	256	338
貸出冊数(冊)	-	-	1,598	3,069	3,250

また、図書館から公民館や学校に職員を派遣しておはなし会やブックトーク等を行うなど、出前講座のサービスも提供をしています。

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館。

利用者から求められた資料や情報は、原則として可能な限り提供するという、図書館サービスの基本的な考え方にに基づき、県内外の図書館と資料の相互貸借を行っています。近年、連携の重要性が認識され始めたMLA連携（博物館・美術館 Museum と図書館 Library、文書館 Archives との連携）も強化しており、アスピラート、ソラール等の様々な企画・イベントと連携し、図書館内でも関連資料の展示等を実施しています。

(注1) **学校図書館支援センター**：地域内の学校図書館の運営や活用、学校図書館間の連携などに対する支援を目的として、教育委員会事務局内または公立図書館内に設けられた機能。図書館ネットワーク・システム構築の際の要として機能する。

令和元年度の図書館相互貸借の実績は、以下の通りです。

●防府図書館相互貸借実績（令和元年度）

館名	貸出冊数	借用冊数
山口県立山口図書館	45	117
下関市立図書館(6館)	69	40
宇部市立図書館	42	103
山口市立図書館(6館)	96	75
萩市立図書館(3館)	65	92
下松市立図書館	34	40
岩国市立図書館(7館)	90	72
光市立図書館	80	19
長門市立図書館	56	55
柳井市立図書館(2館)	64	11
美祢市立美祢図書館	4	46
周南市立図書館(6館)	126	147
山陽小野田市立図書館(2館)	49	27
周防大島町立図書館(4館)	118	4
和木町立図書館	6	1
田布施町立田布施図書館	38	6
平生町立平生図書館	35	1
県外の図書館(中国地方)	26	5
県外の図書館(その他)	9	2
山口大学図書館	8	2
山口県立大学図書館	0	5
合 計	1,060	870

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館。

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館。

子どもたちの調べる学習能力を向上させるため、平成25年度から小学生対象に「防府市調べる学習コンクール」を実施しています。平成28年度からは中学生の部も始まりました。その支援として、図書館では「調べる学習にチャレンジ！ー図書館で調べよう！考えよう！ー」を夏休み中に開催しています。子どもたちが図書館での本の調べ方や研究のまとめ方等について、図書館で相談できる機会を作る支援をしています。それは同時に、児童サービス向上のための職員研修の機会にもなっています。

また、「出前おはなし会」、「絵本の読み聞かせ会」、「ミニビブリオバトル」等の図書館職員が出向く企画や職場体験・図書館見学は、図書館のPRも兼ねており、子どもたちの読書に対する興味・関心や意欲を高める取り組みとなっています。

子どもの読書活動推進に係る令和元年度の主な図書館主催事業は、以下の通りです。

- トーク&ワークショップとサイン会（防府市子ども読書フェスティバル）
演題：「絵本作家岡本よしろうさんトーク&ワークショップ」
講師：岡本 よしろうさん（画家・絵本作家）
5月26日（日）10：15～12：00
- 子ども図書館員
7月29日（月）・8月5日（月）14：00～16：50
参加者：両日とも各9名
- ほうふとしょかん出前おはなし会
毎月第3日曜日14：30～15：00
場所：イオン防府店3階キッズレジ横遊び場
参加者：延べ576人
- 防府市図書館を使った調べる学習コンクール（募集 8月1日～9月30日）
応募者数 小学生の部52人（52作品）、中学生の部27人（24作品）
- 調べる学習にチャレンジ！ー図書館で調べよう！考えよう！ー
場所：防府図書館準備室・お話のへや
日時：7／27（土）～8／24（土）までの8日間
参加者：17名
- 第2回「防府図書館」ビブリオバトル（テーマ「動物」）

場所：防府図書館ブラウジングコーナー

バトラー：高校生2名、大人2名

参加者：23人

●クリスマスおはなし会

場所：防府図書館お話のへや


日時：12月21日(土)14:30～15:30

参加者：30人

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

子どもの読書活動に係る図書館ボランティアの主催する行事や研修会において、図書館職員がブックトーク等の支援をしており好評を得ています。

また、「防府市子ども読書フェスティバル」や「防府図書館まつり」などの行事におけるボランティアとの協働をより一層強化し、子どもの読書活動推進に係る図書館ボランティアへの活動機会や場所・設備・資料・情報の提供など、積極的な活動支援を行っています。



おはなし会などの写真

7 障害者や高齢者に優しい図書館。

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館。

障害者や高齢者が気軽に読書に親しむことができる環境の整備を目指し、大活字本(注1)、点字図書(注2)を含む各種視聴覚資料、布絵本などを計画的に収集しました。そして移動図書館車「わっしょい文庫」の福祉施設巡回には大活字本等を多く搭載するなど資料の構成に配慮しています。

平成29年度には、インターネットコーナーに音声付障害者インターネット端末の配置をし、平成30年度には、リーディングルーペやリーディングトラッカー、携帯助聴機等を受付に配置するなど、図書館内における障害者や高齢者へのサービスの充実に取り組みました。

また、平成30年11月にリーフレット「防府図書館障害者サービスのご案内」を作成し、周知のために関係機関へ配布しました。

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館。

ボランティアに協力を仰ぎ、「防府図書館障害者サービスのご案内」点訳版と音訳版を作成し、関係機関へ配布し周知に努めました。

また、視覚障害者等、身体障害者への郵送貸出サービスを実施しました。

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

障害のある利用者のためのボランティアが利用しやすい図書館コンピュータ・システムを設置したり、図書館におけるボランティア活動をホームページ上で紹介したりしました。

(注1) **大活字本**：弱視者や高齢者用に、大きな活字で印刷された図書。

(注2) **点字図書**：点字で書かれた図書。点字は表面が突起した点を紙に記し、その組み合わせによって音を表す文字。視覚障害者はこれを指先の触覚を利用して読み取る。

施策の方向と具体的な取組

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館。

(1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館。

課題

・防府市立防府図書館資料収集要綱に基づき、質・量ともに充実した資料を継続的に収集

主な取組

- ★ 課題解決型資料提供サービスの展開（ビジネス支援、行政支援、医療健康情報案内、生活情報案内、育児支援、共働き家庭支援など）
- ★ 電子書籍の普及に伴う資料提供サービスの~~変化~~への対応
- ★ 変化する利用者ニーズを反映する予約・リクエストサービスの整備

(2) 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館。

課題

・広報誌の内容のレベルアップ、広報の対象や方法等の見直し
・図書館施設に係るセキュリティの不備改善と、経年劣化しつつある設備のメンテナンス
・図書館入館者数減少に対応する方策

主な取組

- ★ 年齢別サービスの強化推進
- ★ 「ほうふ図書館だより」「としょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」「図書館年報」等定期刊行物の内容充実
- ★ 「図書館利用案内」等のリーフレット、パンフレット、行事案内チラシ、ポスターなどの内容充実
- ★ ホームページの内容充実
- ★ 市広報「ほうふ」の活用推進
- ★ 報道資料作成による、マスコミ活用広報活動の展開
- ★ 図書館まつり、子ども読書フェスティバルの内容充実
- ★ 利用記録(読書履歴、複写履歴等)の秘密厳守と基本的人権やプライバシー保

護の徹底

- ★ 安全管理・危機管理体制の日常的整備と強化
- ★ 接遇コミュニケーション能力の高い図書館員の育成と研修(他人への思いやり、優しさ、親切、謙虚さ、明るさ、笑顔が態度で示せる職員の育成)

(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館。

課題

- ・ 移動図書館ステーションの利用度格差
- ・ 広報に掲載していた移動図書館車巡回日のお知らせに替わる周知方法

主な取組

- ★ 移動図書館車「わっしょい文庫」運行サービスの充実
- ★ 「地域文庫」、団体貸出(「貸出文庫」「読書会文庫」)の充実と周知
- ★ 出張サービス(「出前おはなし会」「わっしょい文庫」)

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館。

課題

- ・ 職員のレファレンス対応能力の向上
- ・ 国立国会図書館や他の図書館とのレファレンス協力体制の構築

主な取組

- ★ レファレンスサービス充実のための職員研修の強化
- ★ レファレンス事例集の作成と公開
- ★ 関係諸機関への紹介業務の強化
- ★ 読書案内・読書相談サービスの強化
- ★ 新着図書案内やテーマ(件名)別ブックリスト、パスファインダーの作成と内容充実
- ★ 利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化
- ★ 資料検索システム、Web目録等の内容整備
- ★ カレントアウェアネスサービス(注1)の充実
- ★ 利用者開放インターネットサービスの充実

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館。

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンタの一としての機能を持つ図書館。

課題

・各行事の参加者数を増やしていくための方策(企画のマンネリ化打破)

主な取組

- ★ 防府市子ども読書フェスティバルの内容の充実
- ★ 防府図書館まつりの内容の充実
- ★ 新たな協働事業の展開

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館。

課題

・ボランティアの高齢化。

・新たなボランティア(アクティブ・シニア、若者等)が参加しやすい環境整備、人材確保と育成

主な取組

- ★ 「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実、参加者の拡大
- ★ 「図書館ボランティア連絡会議」の開催と継続

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館。

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館。

課題

- ・各行事の参加者数を増やしていくための方策(企画のマンネリ化打破)
- ・資料の利用促進に結び付く展示内容の工夫
- ・ビブリオバトルの開催時期の検討と学生参加の促進

主な取組

- ★ 図書館資料展示の内容充実
- ★ 新たな図書館行事の開発開催と充実(ビブリオバトル、ライぶらり等(注1))
- ★ 学習グループ等と協働した活動の推進

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館。

課題

- ・図書館が生涯学習グループ活動に機会と場所を提供していることの広報・周知
- ・閲覧者の強い関心を引く掲載方法の工夫
- ・グループ数や会員数を増やす方策

主な取組

- ★ 生涯学習グループへの支援の強化
- ★ 新たな生涯学習グループ活動の奨励

(注1) ライぶらり：参加者が図書館を散策し、面白そうと思った本を選び、なぜその本を選んだのかを短時間で紹介し合う、全員参加型の読書活動。山口県立山口図書館内に設置された山口県子ども読書支援センターにおいて2018年に考案。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館。

課題

- ・郷土関係資料の刊行についての的確・迅速な情報収集、調査研究
- ・職員研修の実施、強化

主な取組

- ★ 地域の特性を反映した資料構成(コレクション)のための積極的な地域(郷土)資料の収集
- ★ 地域行政関係資料の積極的な収集・整備
- ★ 郷土出身者の著作物の積極的な収集・整備

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館。

課題

- ・郷土史、郷土文学に関する職員研修
- ・他機関との連携
- ・展示室の定期的な展示替えと集客

主な取組

- ★ 防府史料の刊行継続・電子書籍化のための、研究者との連携、史料の発掘、職員研修の強化
- ★ 上山満之進の顕彰と三哲文庫の事績の後世への継承

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館。

課題

- ・外国語・外国文化の基礎を理解するための職員研修の実施
- ・新しい資料の収集強化

主な取組

- ★ 春川市立図書館との交流の推進と資料コーナーの整備
- ★ 外国語のサイン、図書館利用案内等の整備
- ★ 外国語の図書、新聞、雑誌、音楽資料、映像資料等の収集・提供
- ★ 日本語・日本文化学習のための資料、情報、機会等の提供

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館。

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館。

課題

・学校図書館とのネットワーク・システムの有効活用による、更なる学校支援の推進

主な取組

- ★ 学校図書館とのネットワーク・システムの構築(資料・情報の共有化)
- ★ 学校教育活動、学校図書館への支援(資料・情報の提供等)・連携・協力
- ★ 将来設置が検討されている学校図書館支援センターとの連携強化
- ★ 学校司書の研修の機会や場の提供
- ★ 学校、児童館等への団体貸出(貸出文庫)、出張サービス(出前講座など)の充実
- ★ 公民館との連携強化による地域文庫サービスの内容充実

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館。

課題

・県内外の図書館との連携強化によるサービス向上のための情報と資料の収集
・他施設との連携における相互協力の強化

主な取組

- ★ 資料相互貸借の推進と周知
- ★ レファレンス協力・関係諸機関の紹介業務の推進と周知
- ★ 文献複写送付サービスの推進と周知
- ★ 資料収集・保存協力体制の確立

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館。

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館。

課題

- ・中学生に対する「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の応募数の伸び悩み(推進と周知の強化)

主な取組

- ★ 「第3次防府市子ども読書活動推進計画」中の市立図書館取組項目の推進
- ★ 市の関係部署等行政機関との連携強化
- ★ 「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施
- ★ 児童サービス向上のための職員研修の強化

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

課題

- ・ボランティアとの協働事業の推進
- ・次世代を担うボランティアの人材確保と育成
- ・若者がボランティアに参加しやすい環境整備

主な取組

- ★ 「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実
- ★ 子どもの読書活動に係る図書館ボランティアへの支援強化

7 障害者や高齢者に優しい図書館。

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館。

課題

- ・ 障害者や高齢者の図書館利用促進(新講座の開設など)
- ・ 障害者サービス周知のための広報活動の強化
- ・ 視覚障害者が利用しやすい書籍等の充実、円滑な利用のための支援及び体制の整備(読書バリアフリー法関連)

主な取組

- ★ 点字図書、大活字本、各種視聴覚資料、布絵本、拡大読書器、拡大鏡等の整備・充実
- ★ 行政機関の広報担当部署、障害者高齢者サービス担当部署、点字図書館、社会福祉協議会等との連携協力による情報発信の強化
- ★ 手話によるサービス、筆談によるサービスの推進
- ★ 障害者用郵送貸出サービスの周知と推進
- ★ 高齢者を対象にした新講座・イベントの開設

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館。

課題

- ・ 障害者サービスに係る職員研修の強化と広報活動の強化

主な取組

- ★ ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の製作
- ★ 対面朗読、視覚障害者用郵送貸出等のサービスの周知と推進

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館。

課題

- ・ 障害のある利用者のためのボランティア活動との連携強化
- ・ 次世代を担うボランティアの人材確保と環境整備

主な取組

- ★ 障害のある利用者のためのボランティア活動への支援強化(機会・場所・設

備・資料・情報の提供などの活動支援強化)

《共通した課題》

- ◎利用者減少に歯止めをかける方策
- ◎ボランティアの高齢化問題にかかる人材確保とその育成、若者のボランティア参加の環境整備
- ◎情報全般に係る周知と情報の対象者に合わせた広報の方策
- ◎他施設・機関との密な情報交換の場の設定や相互協力とその方策